

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	下水道長寿命化対策事業			事業番号	35-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	土木部下水道担当	石塚 俊彦	下水道整備課	芦川 友広	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	16	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	35	公共施設の効率的な活用と維持管理・保全の推進	
予算事業名	第2号公共下水道管渠整備事業費 第3号公共下水道管渠整備事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成29年度	～	終了年度	—
関連法令等					
国・県の計画等	下水道ストックマネジメント支援制度		計画期間		
関連個別計画	社会資本総合整備計画(伊勢原市安全で災害に強いまちの実現(防災・安全))		計画期間	平成28年度から令和2年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	伊勢原市の公共下水道事業は昭和46年度から実施しており、管路施設等の老朽化による管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などが発生する可能性があるため、今後はライフサイクルコスト最小化の観点で踏まえ、耐震化等の機能向上も考慮した、長寿命化対策を含めた計画的な改築・更新を行う必要がある。				
目的 (何をどうしたいのか)	下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的な修繕等を行い、長寿命化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	下水道ストックマネジメント計画に係る下水道施設(管渠、マンホール等)				
事業内容 (手段、手法など)	・「長寿命化対策」に係る管路施設について、「下水道ストックマネジメント計画」を策定します。この計画に基づき、腐食のおそれの大きい箇所点検および調査、また、鈴川工業団地・高森2～5丁目地区及び石田地区等において、下水道施設の修繕・改築を行います。				
事業行程	項目	年度			
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	第2号公共下水道	計画書策定 カメラ調査	詳細設計 修繕工事	詳細設計 修繕工事	
	第3号公共下水道	計画書策定 カメラ調査	詳細設計 修繕工事	詳細設計 修繕工事	
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			平成30年度	令和元年度	令和2年度
	長寿命化実施済率	15% (平成29年度)	15.3%	22.4%	36.5%



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	平成30年度に作成したストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築を行います。			
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="checkbox"/> すべて直接実施 <input type="checkbox"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者	
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先	
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容	
実施結果	項目	年度		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
	第2号公共下水道	ストックマネジメント計画策定	修繕工事	
	第3号公共下水道	ストックマネジメント計画策定	修繕工事	
実施した取組の内容	ストックマネジメント計画に伴う改築修繕工事			
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度	
	長寿命化実施済率	15% (平成29年度)	平成30年度 15%	令和元年度 31%

コスト	年度		平成30年度 実績		令和元年度 実績		令和2年度 実績						
	事業費合計 (a)		41,112	千円	76,917	千円	0	千円					
内訳	国県支出金 ①	17,500	千円	18,500	千円	0	千円						
	地方債 ②	0	千円	58,300	千円	0	千円						
	その他特財 ③	0	千円	0	千円	0	千円						
	一般財源 (a)-①-②-③	23,612	千円	117	千円	0	千円						
国県支出金の内容		社会資本整備総合交付金(防災・安全) 18,500千円 補助率1/2											
その他特財の内容	受益者負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		前回の改定時期									
	その他												
人件費	正規職員	0.4	人	3,404	千円	0.45	人	3,915	千円	0	人	0	千円
	その他の職員	0	人	0	千円	0	人	0	千円	0	人	0	千円
	人件費合計 (b)	0.4	人	3,404	千円	0.45	人	3,915	千円	0	人	0	千円
トータルコスト (a)+(b)		44,516	千円	80,832	千円	0	千円						
単位当たりコスト	対象数	定義	改築計画延長		単位	改築計画延長		単位			単位		
		対象数	0	m	984	m							
	総事業費／対象数		円	82,146	円		円						

評 価 (Check)				
進捗状況 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	ストックマネジメント計画に伴う改築修繕工事を実施した。
実施水準 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	他都市の事業内容等	各自治体によって、下水道施設の整備状況が異なることから、一律に比較できません。
有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	管路施設等の老朽化による管路の破断などによる機能低下や、道路陥没などが発生する可能性があり、耐震化等の機能向上も考慮し、計画的に事業を進める必要があります。
効率性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	下水道事業の役割を踏まえ、持続可能な下水道事業の実現を目的に、明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状況を予測しながら、下水道施設を計画的かつ効率的に管理することが出来ます。


 取組の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)				
所属長による今後の方向性の判断	方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上継続	事業推進上の課題	<p>今年度が社会資本総合整備計画の最終年度となるため、次期計画を策定する必要があります。</p> <p>また、改築更新について、交付金がなくなる可能性があるため、社会資本整備総合交付金の確保に向け、要望活動を行うとともに、費用対効果を考慮した整備計画を着実に実施する必要があります。</p>
令和2年度の取組方針		平成30年度に作成したストックマネジメント計画に基づき、下水道施設の修繕・改築及び、点検調査を行います。		
所管部長による総評		全国的に老朽化した管渠に起因する道路陥没や公共用水域への汚水の流出事故が見られます。本市についても40年以上経過した管渠が存在し、老朽化した管渠に起因する事故のリスクは高まっています。このようなことから平成31年3月に「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、同計画に基づき社会資本整備総合交付金を活用した管渠の長寿命化対策を進める必要があります。		